

生活科 1年1組 大津学級 授業日:2025年10月1日

「765がっこうたんけんたい」～学校のまわりを歩いてみよう～

低学年分科会の目指す児童像

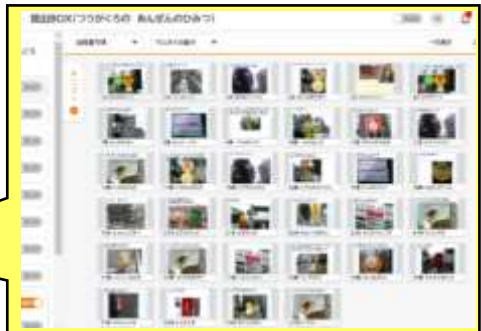
仲六郷地域について調べたことをまとめ、自分の言葉で表現できる子

「おおたの未来づくり」で育成を目指す「創造的な資質・能力」の素地づくりの観点からすると、第1学年から、情報を整理し、まとめ、分かりやすく表現するための学習を積み重ねていく必要がある。

そこで、学校探検や通学路探検を通して、学校や通学路にあるものを見付けたり、そこにいる人と触れたりする中で、まずは自分の周りの人やものに関心をもつようにした。そしてわかったことなどを伝え合い、自分と学校や地域との関係について気付かせるようにした。こうした学習の積み重ねが、学校、地域への帰属意識を育み、地域とすすんで関わろうとする態度の育成につながると考えた。

研究主題や目指す児童像にせまるための手立て

- (1) 実社会で活躍する人や施設との連携
 - ・学校にいる様々な場所や人との関わり
 - ・家庭との連携による事前学習
 - ・交通誘導員等との連携
- (2) 主体的・協働的な学習の工夫
 - ・グループ構成の工夫
 - ・気付きを促すための工夫
- (3) ICT等の活用
 - ・タブレットのカメラ機能の活用
 - ・Google クラウドクラスルームやオクリンクプラスを活用



【学習後の振り返り】

質問	①自分の考えを友達に伝えることができた。	②友達の考えを聞いた。	③通学路の安全のひみつに気付くことができた。																		
学習後	<table border="1"><tr><td>よくできた</td><td>66%</td></tr><tr><td>できた</td><td>28%</td></tr><tr><td>あまりできなかった</td><td>6%</td></tr></table>	よくできた	66%	できた	28%	あまりできなかった	6%	<table border="1"><tr><td>よくできた</td><td>75%</td></tr><tr><td>できた</td><td>19%</td></tr><tr><td>あまりできなかった</td><td>6%</td></tr></table>	よくできた	75%	できた	19%	あまりできなかった	6%	<table border="1"><tr><td>よくできた</td><td>60%</td></tr><tr><td>できた</td><td>30%</td></tr><tr><td>あまりできなかった</td><td>10%</td></tr></table>	よくできた	60%	できた	30%	あまりできなかった	10%
よくできた	66%																				
できた	28%																				
あまりできなかった	6%																				
よくできた	75%																				
できた	19%																				
あまりできなかった	6%																				
よくできた	60%																				
できた	30%																				
あまりできなかった	10%																				

話し合い活動で、自分の考えを相手に伝える経験はまだ少ないが、今回の授業の振り返りでは、8割を超える児童が「よくできた」「できた」と回答しており、自分で見つけたことをすすんで発表することができた児童が多いことがわかる。また、9割の児童が、通学路の安全のひみつについて気づくことができた。具体的には、「通学路にはいろんなものがあった。」「ものだけではなく、守ってくれている人もいた。」と記述している児童が多かった。「ルールを守って歩きたい。」と安全に生活しようとする姿勢も見られた。

【学習の様子】

課題の設定



学校探検では、いろんな教室や物を見つけられた。



自分たちのために働いてくれている人がたくさんいた。

学校の周りについてはどうだろう？調べてみたい。

情報の収集



お店にもひみつがありそう。



このマークはなんだろう？



道路にいろんな看板がある。

整理・分析



通学路にはどんな安全のひみつがあったかな。

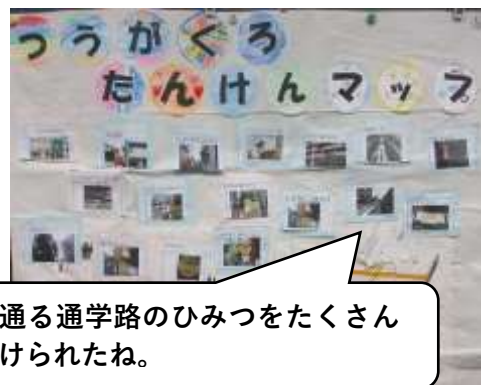


友達に教えたい、いちばんのひみつを決めよう。

まとめ・表現



通学路の安全は、いろんな「もの」や「人」に守られている。



これからルールを守って歩こう。

毎日通る通学路のひみつをたくさん見つけられたね。

成果と課題

成果

- ・同一コースでのグループ編成により、協力して情報を集める姿が見られ、活発な話し合いが生まれた。
- ・ICT(オクリンク)の活用や事前の役割分担により、学習活動が円滑に進んだ。
- ・子どもたちのつぶやきが多く、主体的に学習に取り組む様子が見られた。
- ・「通学路探検での気づき」から「見守ってくれている人」や「ものや人の意味」への気づきへと、気づきの質が段階的に高まっていた。

課題

- ・活動内容が多くなり、思考を十分に深める時間が確保できなかった。
- ・グループの人数が多く、一人ひとりの発言機会や合意形成に課題が見られた。
- ・発達段階に合った、話し合いの焦点を絞るための手立てが必要であった。